

ふくしま食の安全・安心対策プログラム 平成25年度上半期(4月～9月)の実施状況

I 実施状況の概要

基本施策1 生産から消費に至る食の安全を確保します。

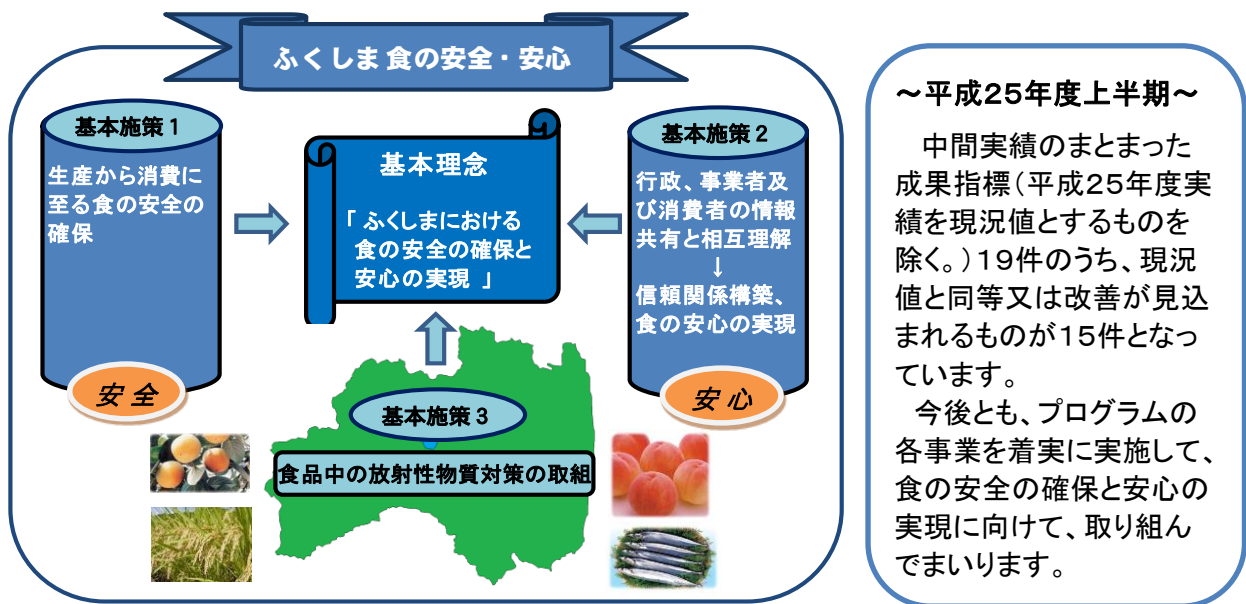
食品の生産、製造・加工、流通・販売、消費のすべての段階において、本年度計画した52事業のうち、48事業を実施しています(4事業は未実施)。平成25年9月末現在、17の成果目標のうち、中間実績がまとまった14の成果目標についてみると、不良食品関係の8つの成果指標については、策定時の現況値と同等又は改善が見込まれるものが5件となっており、不良食品以外の成果指標6つについては、策定時の現況値と同等又は改善が見込まれるものが5件となっています。下半期も、引き続き、食の安全に向けた取組みを確実に実施していきます。

基本施策2 行政、食品関連事業者及び消費者の情報共有と相互理解を図り、信頼関係を構築し食の安心を実現します。

平成25年9月末現在、本年度計画した15事業中、13事業を実施しています(2事業は未実施)。5つの成果目標のうち、平成25年度実績を現況値とする2つの成果目標以外、3つの成果目標は、現況値を改善することが見込まれる数値又は26年度目標を達成した数値が得られています。引き続き、行政、食品関連事業者及び消費者が必要な情報を共有して、相互理解を深め、食の安心の実現に向けた事業を実施していきます。

基本施策3 食品中の放射性物質対策に取り組み、より一層の食の安全・安心を確保します。

平成25年9月末現在、食品中の放射性物質検査を積極的に実施して、測定結果を迅速に情報発信するとともに、放射性物質に関する正しい情報・知識を共有するため、本年度計画した31事業(上記の施策と重複する事業9)のうち、30事業を実施しています。2つの成果目標は、いずれも策定時の現況値と同等又は改善されており、本年度は、これまでに食品衛生法における放射性物質の基準値を超過して出荷、流通販売された食品はありません。引き続き、県民の健康保護に向けた事業を推進していきます。



II プログラムの成果目標と25年度事業(上半期)の実績

基本施策1 生産から消費に至る食の安全を確保します。

(1) 安全な食品の生産と供給

	代表指標	現況値	24年度実績	25年度中間実績	26年度目標値
①	GAP(農業生産工程管理)取組産地数	114産地 (23年度実績)	118産地	—	186産地
②	有機栽培・特別栽培面積(水稲)	4,081ha (23年度実績)	4,007ha	—	5,000ha
③	HACCP承認施設における 不良食品発生件数	0件 (21～23年度平均)	0件	0件	0件

(2) 生産から消費に至る監視・指導の強化

	代表指標	現況値	24年度実績	25年度中間実績	26年度目標値
④	食品衛生法に基づく検査での 残留農薬違反件数	0件 (23年度実績)	1件	0件	0件
⑤	養殖出荷魚の残留薬品の検出回数	0件 (23年度実績)	0件	1件	0件
⑥	毒化貝類の出荷件数	0件 (23年度実績)	0件	0件	0件
⑦	動物用医薬品の製造・販売業者の 適法状況割合	100% (23年度実績)	100%	100%	100%
⑧	食品製造施設に起因する 不良食品発生件数	43件 (21～23年度平均)	27件	14件	32件以下
⑨	食品営業施設・給食施設での 食中毒発生件数	12件 (21～23年度平均)	7件	2件	9件以下
⑩	食品の流通販売施設に起因する 不良食品発生件数	4件 (21～23年度平均)	12件	8件	3件以下
⑪	輸入食品での不良食品発生件数	1件 (21～23年度平均)	0件	1件	0件

(3) 食品表示の適正化の推進

	代表指標	現況値	24年度実績	25年度中間実績	26年度目標値
⑫	食品衛生法に基づく 表示不良食品の発生件数	25件 (21～23年度平均)	23件	16件	18件以下
⑬	JAS法に基づく食品加工業者の 適正表示率	94% (21～23年度平均)	74.5%	75.0%	100%
⑭	JAS法に基づく生鮮食品業者の 適正表示率	92% (21～23年度平均)	97%	98.2%	100%

(4) 食の安全を確保するための検査体制の充実

	代表指標	現況値	24年度実績	25年度中間実績	26年度目標値
⑮	福島県試験検査精度管理における 検査値の逸脱施設数	0件 (23年度実績)	4件	—	0件
⑯	食品衛生法上の不良食品発生件数	47件 (21～23年度平均)	44件	24件	35件以下

(5) 食の安全に関する調査研究の推進

	代表指標	現況値	24年度実績	25年度中間実績	26年度目標値
⑰	残留農薬の分析検体のうち 基準値を超過した検体数	0件 (23年度実績)	0件	0件	0件

基本施策2 行政、食品関連事業者及び消費者の情報共有と相互理解を図り、信頼関係を構築し食の安心を実現します。

(1) 食の安全に関する情報の共有と普及啓発の推進

代表指標	現況値	24年度実績	25年度中間実績	26年度目標値
① 食品営業施設等・家庭における食中毒発生件数 (うち、毒きのこ等による食中毒発生件数)	22件 (21～23年度平均) (9件 ("))	13件 (4件)	6件 (1件)	16件以下 (6件以下)
② 講習会等で実施するアンケート調査において「食の安全・安心が確保されている」と回答した割合	平成25年度より実施予定		62.8%	平成25年度以上

(2) 食の安全に関するリスクコミュニケーションの促進

代表指標	現況値	24年度実績	25年度中間実績	26年度目標値
③ 食品営業施設等・家庭における食中毒発生件数(再掲)	22件 (21～23年度平均)	13件	6件	16件以下
講習会等で実施するアンケート調査において「食の安全・安心が確保されている」と回答した割合(再掲)	平成25年度より実施予定		62.8%	平成25年度以上

(3) 食の安全に関する県民の意見の施策への反映

(4) 食育の推進

代表指標	現況値	24年度実績	25年度中間実績	26年度目標値
④ 食育推進計画を作成している市町村の割合	47.5% (H24.4.1現在作成数)	57.6%	57.6%	55%
⑤ 福島県食育応援企業団の登録数	0件 (24年度末)	—	8社	4社

基本施策3 食品中の放射性物質対策に取り組み、より一層の食の安全・安心を確保します。

(1) 安全な食品の生産に向けた放射性物質対策

代表指標	現況値	24年度実績	25年度中間実績	26年度目標値
① 食品衛生法における放射性物質の基準値を超過して出荷、流通販売された食品の件数 <食品衛生法上の違反食品件数>	9件 (23年度実績)	4件	0件	0件

(2) 食品中の放射性物質検査と測定結果の情報発信

代表指標	現況値	24年度実績	25年度中間実績	26年度目標値
食品衛生法における放射性物質の基準値を超過して出荷、流通販売された食品の件数 <食品衛生法上の違反食品件数>(再掲)	9件 (23年度実績)	4件	0件	0件

(3) 飲用水の放射性物質検査と測定結果の情報発信

代表指標	現況値	24年度実績	25年度中間実績	26年度目標値
② 水道水・飲用井戸水における放射性物質の管理目標値を超過した件数	0件 (23年度実績)	0件	0件	0件

(4) 食品中の放射性物質対策に伴う情報共有とリスクコミュニケーションの促進

(5) 食品中の放射性物質対策に関する調査研究の推進